

顧客参加型の取り組み「0円ペーパー」 12年間で14トンの余り紙再利用を実現

今年も5/30日 ゴミゼロの日からスタート
工場の紙資源を無駄なく使う「0円ペーパー」キャンペーン

大阪府堺市に本社を構える株式会社羽車（代表：杉浦正樹）は、今年秋に創業105周年を迎えます。弊社は封筒、カード、紙製パッケージなど、企業向けのカスタムオーダー印刷物の製造・販売を行っています。主原料のほとんどに木材パルプを使用していることもあり、環境配慮の取り組みを積極的に行っています。



『0円ペーパー』とは、製造過程で発生する余り紙をメモサイズに整え、お客様に「0円で」提供する取り組みです。この取り組みは2011年にスタートし、これまで累計14トンの余り紙を再利用いただくことができました。

この度、2023年5月30日から6月30日まで、株式会社羽車では「0円ペーパーキャンペーン」を実施いたします。工場の余り紙、長期在庫品、廃番商品などに加工を加え、お客様に再度ご利用いただくキャンペーンで、約10種類の紙製品を提供予定です。

【0円ペーパーを始めた経緯】

封筒や紙製品の製造では、大きな紙から必要なサイズにカットするため、どうしても余り紙が発生してしまいます。そこでスタッフのアイデアから余り紙を再利用する『0円ペー

パー』が生まれました。さまざまな形状の余り紙から、利用可能なきれいな部分をはがきサイズにカットし、専用の箱に詰めてオンラインストアで提供しています。

『0円ペーパー』は、本来は商品となる紙から仕立てるため、Cotton紙のように質感のよい紙も含まれています。毎年2,500個程度を出荷し、12年間の累計で14トンの紙を再利用することができました。

お客様と共に進めるこの取り組みを、今後も継続して参ります。

0円ペーパー（取り組みのストーリー動画もご覧いただけます）

<https://www.haguruma.co.jp/outlets-and-limited-products/44383>

参考）環境についての羽車の取り組み

紙・商品についての取り組み

- ・メイン商材の紙素材は、森林認証紙のオリジナル紙素材／再生紙／非木材紙 を使用
- ・製造において発生したロス紙はすべてリサイクル
- ・再生された紙の一部を商品ケースとして使用
- ・販売できなくなった商品は「みつばちプログラム」として幼稚園や保育園に寄付
- ・使える余り紙は「0円ペーパー」としてお客様に提供（*本リリースの取り組み）

工場での取り組み

- ・印刷には環境負荷が少ないベジタブルインキを使用。
- ・人と環境にやさしい有機溶剤を使用。（有機溶剤中毒予防規則の対象溶剤不使用）
- ・オフセット印刷の刷版は、現像をしない版（完全無処理プレート）を使用
（薬品を使わず廃液も出ないため環境の負荷を低減）
- ・環境省の「エコアクション21」ガイドラインに基づいた環境マネジメント体制
- ・CO2の排出量削減、廃棄物、排水量、歩留まり率向上などの数値を「CSR活動報告書」で社内・社外に開示



【お問い合わせ先】

株式会社 羽車（ハグルマ） 本社住所：大阪府堺市東区八下町3-50

担当者：企画広報部 永田 留美 柳 朋美

TEL：（東京・広報部）03-6432-9880 E-mail：pr@haguruma.co.jp

【企業情報】

株式会社 羽車（ハグルマ）

主に企業向けに封筒・カード・パッケージなどの紙製品を製造販売している老舗の封筒メーカー。

環境に配慮し風合いも楽しめるオリジナル紙素材を開発。色や質感に特徴のある紙製品に、職人による温かみのある印刷加工を加えたカスタマイズサービスを展開している。1918年（大正7年）創業、

2023年10月に105周年を迎える。

HAGURUMA STORE（ハグルマストア）

<https://www.haguruma.co.jp/store>